

科目名	老年看護援助論 I		時期		時間	単位
担当教員	非常勤講師		2年次	前期	30時間	1単位
科目設定理由	高齢者に特有な健康問題について理解し、障害や疾病が生活に及ぼす影響をとらえ、高齢者とその家族の生活の質を考えた援助方法や自立支援を学ぶ。 これらの学びを通して、超高齢社会の中で多様な背景を持つ高齢者とその家族を尊重した援助方法とその根拠を基盤に、それぞれの対象に合わせた看護実践能力を養うため当該科目を設定した。					
学習目標	1 脳神経機能障害、認知機能障害、運動機能障害をもつ高齢者への看護を理解する 2 褥瘡を予防するための援助方法を理解する					
修得する看護技術項目	NO.17 自動・他動運動の援助 NO.35 褥瘡予防ケア					
授 業 計 画						
回数	項目	内 容				備 考
1~4	脳神経機能障害をもつ高齢者の看護	1 脳血管障害の病態、症状、検査、診断、治療 (1) 脳血管障害 (大脳、小脳) (2) 頭部外傷 (3) パーキンソン症候群 (4) その他高齢者に多い脳血管障害 2 生じやすい看護問題と看護 (1) 急性期、回復期、維持期の看護 (2) 生じやすい看護問題と看護 ア 歩行や転倒予防に対する援助 イ 日常生活に関する援助 ウ 薬物療法時の援助 エ 家族への支援				講義 演習 ・摂食嚥下
5~7	認知機能障害をもつ高齢者の看護	1 認知機能障害の病態、症状、検査、診断、治療 (1) うつ (2) せん妄 (3) 認知症 2 認知機能および生活機能の評価 3 認知症の予防と看護				講義
8~11	運動機能障害をもつ高齢者の看護	1 運動機能障害の病態、症状、検査、診断、治療 (1) 大腿骨頸部骨折 (2) 骨粗鬆症 (3) 関節リウマチ (4) 椎間板ヘルニア (5) その他高齢者に多い運動機能障害 2 大腿骨頸部骨折患者の看護 (1) 処置・治療に伴う経過と看護 (2) 生じやすい看護問題と看護 (3) 関節可動域訓練 (4) 牽引療法、ギプス固定				講義 演習 NO.17
12~14	褥瘡予防の援助	1 褥瘡の病態、症状、検査、診断、治療 2 褥瘡をもつ患者の看護 (1) 発生要因のアセスメント (2) 褥瘡リスクの評価ツール (3) 外力に対する看護 (4) 組織耐久性の低下へのケア (5) 褥瘡の評価 3 褥瘡予防の援助技術				講義 演習 NO.35
15	試験	まとめ				
使用テキスト	系統看護学講座 専門分野 老年看護学			北川 公子 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論			鳥羽 研二 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[7]脳・神経			井手 隆文 他		医学書院
	系統看護学講座 専門分野 成人看護学[10]運動器			田中 栄 他		医学書院
	根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術			任 和子 他		医学書院
参考図書・資料等						
評価方法	筆記試験・グループワーク・レポート・出席状況などを総合的に評価する					